



古民家 de がんす

一般社団法人全国古民家再生協会広島第一支部 活動報告 2016年夏号



一般社団法人全国古民家再生協会広島第一支部, 〒731-0222, 広島市安佐北区可部東 5-22-33-10
<http://www.kominka-hiroshima.org/> info@kominka-hiroshima.org 082-814-5302

1 古民家鑑定を行いました ～三次市志和地町～

三次市下志和地町の「池上様邸」で、古民家鑑定を行いました。

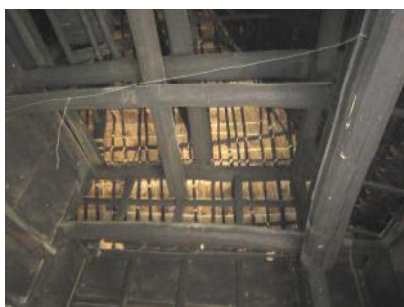
推定建築時期は「文化・文政」（文化元年 1804～1818 文政元年～1829 文政 12 年）とかなり古く、築 200 年にもなります。

この時期は解体新書でおなじみの杉田玄白（文化 14 年）や清水次郎長誕生（文政 3 年）など、なかなか興味のある時期です。

内部は綺麗に保存されており、管理が行き届いていました。



大きくて迫力のある屋根が印象的な池上様邸



大きくて立派な構造材が使用されていた

建物概要として、基礎は自然石の礎石造り、外壁腰板張り、上部壁は
真壁で竹小舞下地土壁塗り、茅葺にトタン板葺き屋根とした和風建築、
屋内の和室は書院付き床の間、障子があり、天井の高い部屋です。

鴨居はかなり大きな 240mm の部材が使用されていました。南側玄関から入るとすぐ大きな土間があり、天井はなく小屋組表しで約 6400mm くらいの吹き抜け状態です。

「古民家」とは
築 50 年以上経った
建物を古民家と
定義します。

「古民家鑑定士」とは
築 50 年以上の住宅を
調査鑑定し、古民家鑑
定書を発行することが
できる資格です。

この度の鑑定では、許容値（12/1000）を超える柱の傾斜や、床下の補強が必要な箇所などを確認致しました。

今回の鑑定手法として、技術的に判断する項目内容を古民家鑑定士全員で手分けして調査するという方法で行いました。中国新聞の取材もあり、内容の濃い古民家鑑定の調査となりました。その結果今後も十分使用可能な建物であることも確認できました。

【古民家鑑定士 土居一憲】

2 古民家レポート ～広島の素敵な古民家のお店を紹介します～



古民家の風情と展示作品が、とてもよく合います！



「ただいま～」と入りたくなる



併設のカフェでゆっくりと珈琲を♡♡

東区牛田本町に昭和 15 年からの姿そのままに残る、築 75 年の「古民家ギャラリーうした」さんは、原爆の猛火を目前にして、安楽寺の「被爆いちろうの木」恩恵を受け、奇跡的に被災を免れた貴重な古民家です。3 年前に 103 才で亡くなられたお母さまから自宅を引き継いだ後に、ギャラリーとして開放され、ご自身や作家さんの作品展示、染め物・糸紡ぎ・絵画の創作教室として学び・交流の場として活用されています。

古民家ギャラリーうした & P カフェ

住所／広島市東区牛田本町 3-5-1

営業時間／10:00 ～ 17:30 頃まで

定休日／月曜日

連絡先／082-221-5401

私がおすすしめします！

古民家鑑定士 高橋尚江

市内で数少ない被爆を免れた貴重な建物。玄関を入った瞬間、ただいま！と言いたくなるような懐かしさ。

オーナー鶴岡たかさんの、作家さんへの愛情の深さが伝わってくる展示に、ぐっときます。是非、足を運んでみてください♪



遠方からも来店者が多数訪れる大人気のカフェ



こだわりのベーカリーコーナー



ゆったりと時が流れる癒しの空間

築 150 年の古民家を改装した「おへそ」さんは素朴な味わいを感じることができる、どこか懐かしい雰囲気漂うお店です。

お座敷だけでなく、カウンター、テーブル席もあるので、カップルや家族連れの方にもおすすめ。

「ローカル&オーガニック」の厳選素材にこだわったお料理は、心と体を健康にしてくれます♪ 粉・塩・水のみで作られたずっしり重たいパンはモチモチで癖になりますよ！！

おへそカフェ&ベーカリー

住所／世羅郡世羅町宇津戸 1155

営業時間／ランチ 11:00～14:00

※ラストオーダー 13:30

カフェ 14:00～17:00

※ラストオーダー 16:30

定休日／水・木曜日（祝日を除く）

連絡先／0847-23-0678

私がおすすしめします！

古民家鑑定士 山本晃弘

とにかく大人気で、取材に伺った日も沢山の皆様でにぎわっていました！

この日に食べたロスメロス（リゾット）は、素材の味が詰め込まれた濃厚で奥深い味。とても美味しかったです！

「洋」な照明器具が「和」の古民家によく合い、ゆったりとした雰囲気の店です。

3 ヤマトオープンフェスタに参加して

東城町の「ヤマトロックマシン旧自治寮」にて自治寮公開イベント「ヤマトオープンフェスタ」が4月9日～10日に開催され、当支部も自治寮の一室をお借りして「古民家フォトパネル展」と「古材を使った my 箸づくり」をさせていただきました。

ヤマトロックマシン旧自治寮は日本の近代産業発展及び歴史的景観に寄与しているとして、2月に【国・登録有形文化財】に登録された大変貴重な建物です。

自治寮はプライバシー重視の現代の住居とは違い、そこで社員の方が大家族のように共同生活を送っていた光景が浮かぶ、開放的で暖かみのある空間になっています。



ワークショップは大盛況でした！



工場5棟と旧自治寮3棟が登録有形文化財に。

当日は「昔、この部屋に住んどったんよ～。ここ、僕の書いた落書きが残っとる！」「皆で部屋の真ん中でワイワイと話をしたの～」「今改めて見たら狭いの～(笑)」と、当時の様子を懐かしむ方々が来られ、聞いている私も何だか楽しい気持ちにさせていただきました(*^^*)

支部として初めての試みのワークショップ、「古材を使った my 箸づくり」も大好評で、楽しく木に触れあって頂くことが出来ました。

初めてカンナを使われたお子様も、時間をかけて上手に「my 箸」を完成されておられました。嬉しそうにお箸を持って帰って下さるご様子にほっこり幸せな気持ちになりました。



最年少の挑戦者(^◇^*) 頑張れー♪

これから未来に残していくべき価値のある場所で、イベントに参加させていただく機会を頂いた檜原様を初めとする「地域資源を活かし「まち」を創造する職能集団の会」の皆様には心より感謝致します！

【古民家鑑定士 貴船明子】

◎ヤマトロックマシン建物耐震解析セミナーに参加して◎

これから桜の季節を迎えるヤマトロックマシンにて、建物耐震解析セミナーが開催され、私も参加させていただきました。解析方法は建物の常時微動を測定し、それに起因する建物の振動を解析する手法でした。特に装置にて人的に振動を起こした際のデータを解析していた点には「なるほど！」と思いました。データ解析は専門性があり、すべてを理解するのは難しかったですが、興味深く聞かせて頂きました。セミナー参加者には温かいコーヒーがごちそうされ、心温まりました。

【古民家鑑定士 石田照輝】

4 てくてく交流会 IN 府中市 ～出口通り～

府中市出口地区にて、古民家鑑定士による鑑定実技講習終了後、“てくてく交流会”と称して、古民家鑑定士同士の交流会を行いました。

会員同士の交流はもちろんですが、今回の鑑定対象である古民家（旧平地呉服店さん）が所在する出口地区の町並み散策を通して歴史を学ぶことができ、とても貴重な体験ができました。

【出口通り】は、『石州街道が中国山地からやっと平地に出たところ』という意味から名付けられたということです。

急な坂道をくだり、やっと中国山地を越え平野にたどり着き、

出口通りの入口にあったとされる茶屋跡地。長旅の休憩時間、ほっと一息したであろうと偲ばれます。



坂を下り、ここから出口通りへ



お茶とおでんごでひとやすみ♪



幅 4m弱でも当時は大通り

2007 年に世界遺産認定された島根県大田市の大森（石見）銀山から、この出口通りへと銀の道が通っていました。【うだつ】が上がった建物も多く、当時の繁栄を漂わせる街並みを見ることができます。

お天気にも恵まれ気持ち良い散策日和。ボランティアガイドさんの軽妙な説明を聞きながら、てくてく・わくわく楽しく巡りました。単なる観光ではなく、町中に住んでいては、なかなか見ることが難しい実物の貴重な造りの建物を見学できました。

その土地の歴史を学ぶことで、当時の人々の暮らしぶりも知れ、建物の造りが街並みを作っていることを実感でき、古民家鑑定を行う上で、歴史を学ぶ重要性を再確認させてもらえた交流会でした。

【古民家鑑定士 高橋尚江】



石州街道の出入口・三叉路に旅人の頼りである道標



間口が広くてもなんのその！さすが！



繁栄の象徴【うだつ】が立派！！

5 古民家講座 ～もっと伝えたい！古民家の魅力～

古民家鑑定士による古民家の豆知識をお伝えします！

■ 床の間 ■

接客空間の座敷の主役であり、雰囲気やおもてなしの精神性や四季を表現する空間です。

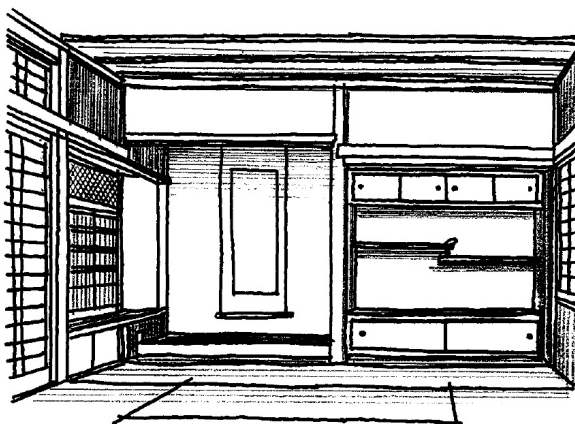
元来「床」は台状になった場所で「寝床」を意味していました。

平安時代に入り、寝殿造りにおいて身分や格式の上下を畳の有無や大きさで表していたのに対し、室町時代に入ると、室内に畳を敷き詰めることが普及し、書院造りにおいて「床」は「貴人の座るべき一段高い場所」を指すようになりました。上段には花瓶、香炉、燭台の「三具足」を飾る場所を「押板」と呼び、室町末期には押板と上段が折衷された現在の「床」の形式が現れ、桃山時代に入ると「押板」は「床」という言葉に変化し併用して用いられていました。江戸時代、茶の湯の普及により、茶室における「床」が書院造りの「押板」にも影響し、「押板」の名称は使われなくなり「床」へと移行しました。

床の間は「真」「行」「草」と分類されます。正式で格式の高い形が「真」で、もっともくずされた形が「草」となるが、基準は極めて曖昧で、主観的なものです。

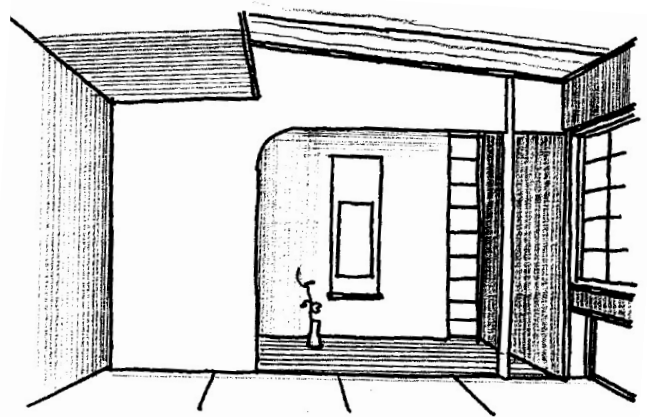
床の間・床脇・書院が揃ったものが「真」、床脇・書院のいずれかが省略されたものが「行」、床の間だけのものが「草」とする考え方もあります。

【文・イラスト 古民家鑑定士 西原勝】



ほんりょ
【本床】

正式な床の間の形式。床柱は面取りした角材を用い、床框は本漆黒色仕上げとし、紋縁の畳敷きとする。これに床脇と書院を付属させ、「真」の構えとなる。



ほらど
【洞床】

床の間の形式のひとつで、床の前面の一方に袖壁をつけ、落掛と袖壁の壁止めの柱がなく、袖壁と上部の小壁、床の内部の壁を塗り回しとした床の間のこと。

6 古民家情報 in 広島 ～古民家に住みたい！貸したい！売りたい！をサポート～

広島第一支部にご相談をいただいている、古民家活用や移住の希望情報です。掲載希望（無料）や情報の詳細については当支部までお問い合わせください！

●佐伯区（湯来町あたりまで）、安佐南区（吉山あたりまで）の古民家を探しています！

自宅として家族3人で移住を希望しており、売買物件を中心に探しています。

●広島市内から半径15キロ以内に古民家を探しています！

平日は市内へ会社勤めをされておられ、余暇としての古民家利用を検討しています。

賃貸、売買、どちらも視野に入れています。

●広島市西区～草津の古民家を探しています！

店舗として利用可能な物件で、賃貸、売買、どちらの可能性も視野に探しています。

隠れ家的なイメージで進めたいので、必ずしも、メイン通りに面する必要はありません。

●東広島市安芸津町の古民家を貸したいです！

築105年の古民家です。しっかりした構造で、床下補強もされています。

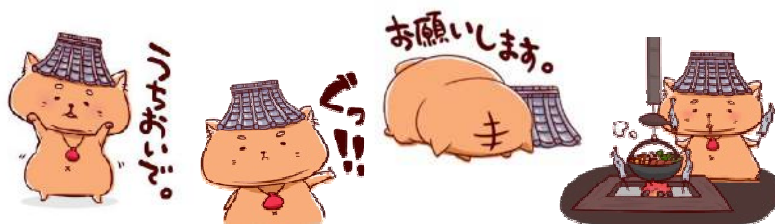
屋根瓦は一部修繕が必要な箇所もありますが、少し手を加えれば、今後さらに長い時間生活できそうな建物です。



●ゲストハウスとして活用したいです！

大竹～岩国方面でゲストハウスとして使える古民家を探しています。詳細は応相談。

ねこみんか
LINEスタンプ
登場！



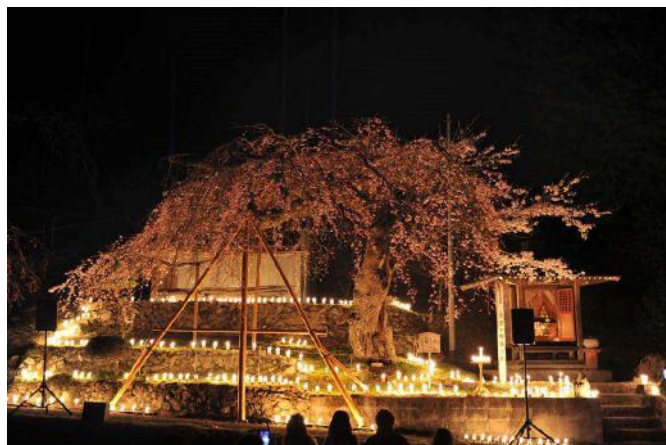
ねこ×古民家！趣味は犬の散歩。宝物は子供たちの夢とどんぐりです。ゆるくて可愛いスタンプ！ぜひ使って下さい。

7 大虫さくらまつりに参加して

廿日市宮内より車で45分くらいのところの虫所山のふもとに2世帯人口6名の小さな村、大虫地区があります。昭和30年代までは人口150名ぐらいで50世帯あったそうです。

その大虫が1年で一番賑わうのがさくらまつり。

以前から新聞でとりあがられていたので気になる祭りの一つでした。今年は古民家再生協会広島でこの祭りに参加させてもらいました。



キャンドルの灯りで照らされた夜桜。天候にも恵まれました♪



メインステージは築150年の古民家



長田さんのビートルズ展♥



当支部はパネル展と箸づくりを開催



大人も子供も！！ 箸づくりは大人気♪

祭りの準備は、村人と村に関係のある人やボランティアの方が協力し合い、草刈りから看板、会場づくりまで すべて手づくりです。

メインのステージは築150年の茅葺きの古民家の庭で行われました。古民家再生協会では「古民家フォト甲子園」とワークショップ「古材を使ったmy 箸づくり」を企画しました。

My 箸づくりには多くの方に体験して頂き、大変喜んで頂きました。

また、古民家再生協会の日ごろの活動も写真パネルを通して理解して頂くことも出来ました。

天候にも恵まれ、山々にはこぶしの花が咲き緑いっぱいの2日間でした。古民家を通して日本の原風景を残していくのも我々協会の使命でもあるのではないのでしょうか。 【古民家鑑定士 畑山成美】

◎初参加でしたが、箸のワークショップもたくさんの人に立ち寄っていただき嬉しかったです！ 今後も古民家、古材の活用に協力していきたいと思
います！ 【古民家鑑定士 柳川顕児】

◎山あいの集落の素朴な景観が素晴らしかったです。田舎らしさを大切に
した笑顔あふれるお祭りでした！ 【古民家鑑定士 藤原紀子】



スタッフ大集合でハイチーズ！！ 楽しい時間をありがとうございました(^◇^)

8 広島支部 会員のご紹介

●^{きぶね かずき}貴船 一樹

古い物が大好きで、自ら集めた古材とノウハウで自宅を建築。「ワクワクする古民家」をテーマに活動をしています。

所属/（有）キブネ建設

●^{にしはら まさる}西原 勝

古民家のデザインは地域の特性が活かした、バランスの良い優れた建物が多く、伝承に関わる事ができればと思っています。

●^{はたやま なるみ}畑山 成美

特に茅葺き屋根の古民家が大好きで、「これぞ日本の原風景」茅葺きの民家を探す探索をしています！

●^{くすべ こうじ}楠部 晃士

日本の伝統文化「古民家」を現代から未来に残す様、頑張って活動しています。

所属/KUSUBE建築工房（株）

●^{ふじわら のりこ}藤原 紀子

生活感のある古民家が好きです

そこに住んでいる方のお話を伺って、一緒に当時に思いを馳せて楽しんでいます！

●^{たかはし なおえ}高橋 尚江

建物・街並み・手仕事等、「古いもの・こと」なら何でも好きという想いだけで扉を叩き、うっかり（笑）開いた隙間に入った世界！

「古き良き」を発受信できる、お節介な窓口を目指しています！

●^{やまもと あきひろ}山本 晃弘

昔ながらの風景が好きで、想いを共にする仲間に出会うべく会員の会へ入会！会を通じて昔ながらの良さをじっくり見つけるきっかけづくりにします！

●^{ど い かずのり}土居 一憲

今まで、仕事ではコンクリート造や鉄骨造が主体ですが、本物の木造が大好きです。

古民家にこだわることなく棟梁の技術など興味を持っています。

所属/（株）オービット設計

●^{はまの みえ}濱野 美恵

昔の人はどんなことを考え、後世に伝えたいと思ったのでしょうか。

地域文化や民話、あなただけが知っているお話をわたしに教えてください！

●^{いしだ てるき}石田 照輝

建築に携わってきて、日本古来の伝統構法、和に魅了され、この協会を通じて古民家の良さを発信していきたいと思っています。

所属/（有）石田土建

●^{やながわ けんじ}柳川 顕児

現在祖父が当時の仲間と建てた家に住んでいます。

築年数が経っていても、古くなっても愛着を持って今後も住み続けたいと思います！

一般社団法人 全国古民家再生協会広島第一支部

731-0222 広島市安佐北区可部東 5-22-33-10

TEL:082-814-5302 FAX:082-516-7545

info@kominka-hiroshima.org <http://www.kominka-hiroshima.org>

担当/

KOMINKA
古民家